

ワンタッチ室内物干しハンガー

品番 **TMH-5**

このたびは当製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。使用前にこの取扱説明書を最後までお読みのうえ正しい使用方で永くご愛用ください。この取り扱い説明書は組み立て後も捨てずに大切に保管しておいてください。

■製品外寸法:(約)取り付け高さ範囲**175cm~280cm** ■ハンガーの長さ(約)**39cm**
 ■耐荷重(約):**20kg(最大)**、ハンガー1本当たり**5kg**

取 扱 説 明 書

△ 組み立て前の注意事項

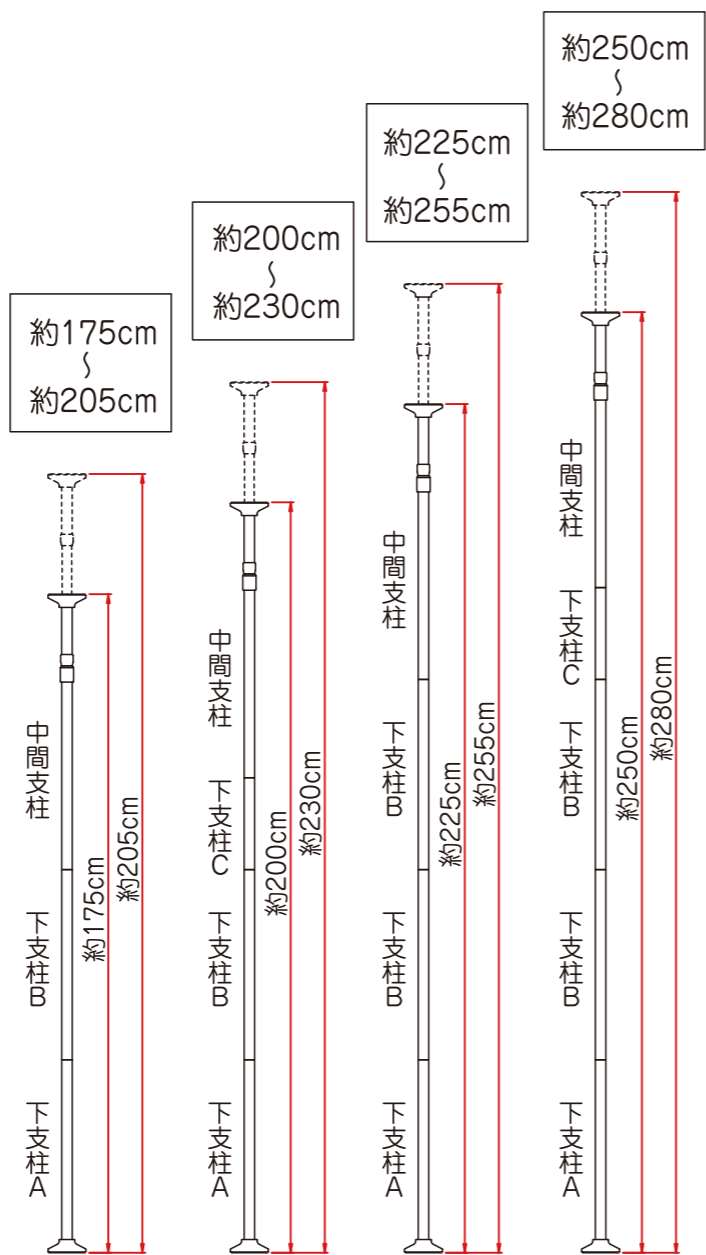
- 本製品は、支柱を天井と床にバネで強力に圧着して取り付けしますので下地のしっかりした所に(コンクリートや梁(横桎)等)取り付けしてください。(※床面も同様に強度のある所に取り付けて下さい)
- 石膏ボードなど柔らかい(弱い)所では破損する恐れがありますので、必ず棧のある所に取り付けるか市販の木板などで補強してください。
- 傾斜した天井面、床面には取り付けしないでください。転倒や落下の原因になります。
- 和室天井は、破損や、変形が生じたりして取り付けできない事がありますので取り付けしないでください。(畳床も不安定ですので、避けてください)
- ねじ、釘を使わずに取り付けしますので、人の体が当たったりする所、また子供の遊び場所などには取り付けしないでください。(特に小さいお子様にご注意ください。)
- 取り付け場所が175cm~280cmの範囲であることを確認してください。

※下図の部品がそろっているか確認してください。

部品一覧

下支柱A...1本	抜け止めバネ付き
	キャップ付き
下支柱B...2本	抜け止めバネ付き
	赤●シール
下支柱C...1本	抜け止めバネ付き
	ストップスリーブ(固定ねじ)付き
中間支柱...1本	切り込み加工
上支柱...1本	バネ内蔵
ジャッキパイプ...1本	固定ねじ付き
ハンガー...4本	
キャップ...2個	

適応天井高サイズ 約175cm~約280cm

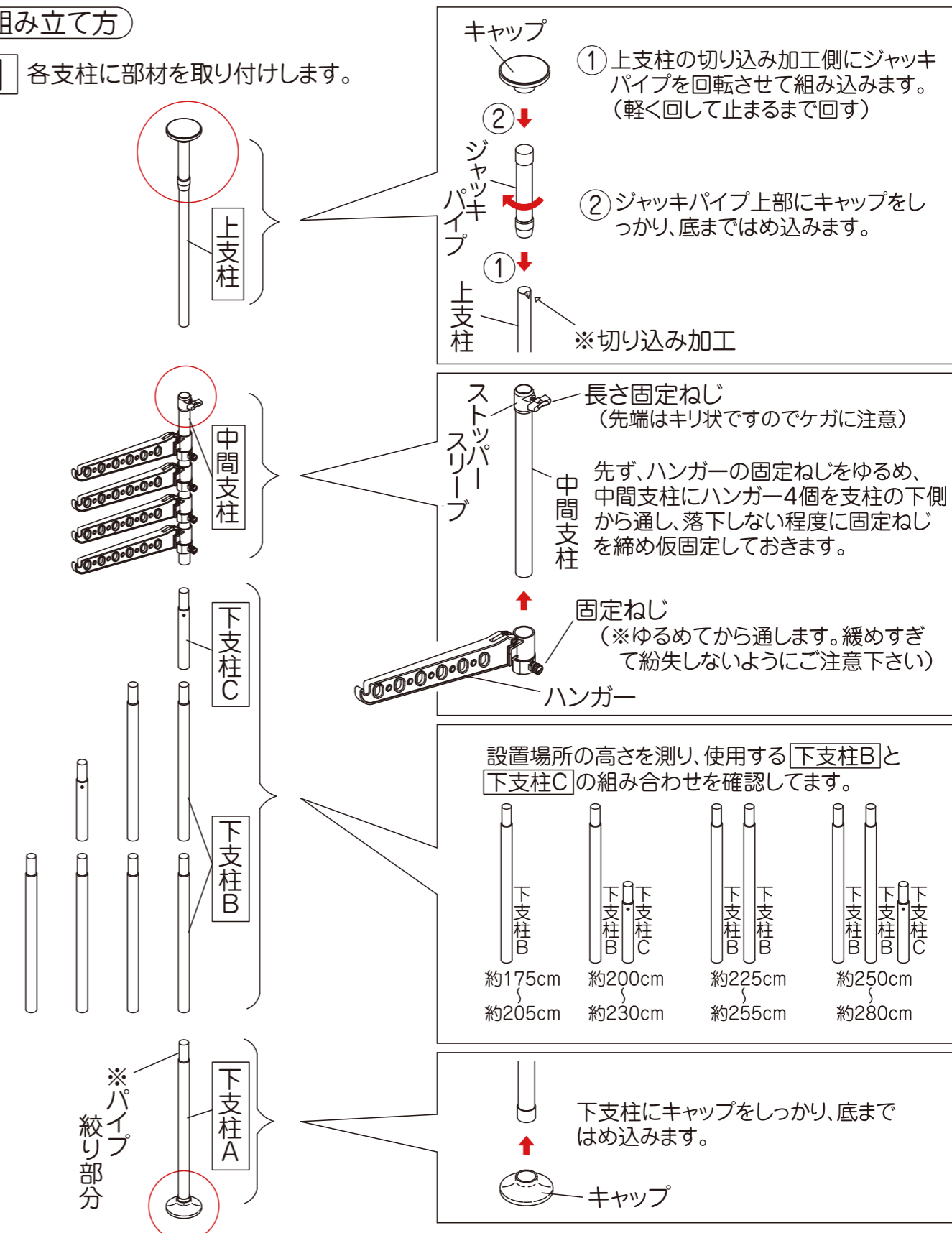


△ 組み立て上の注意事項

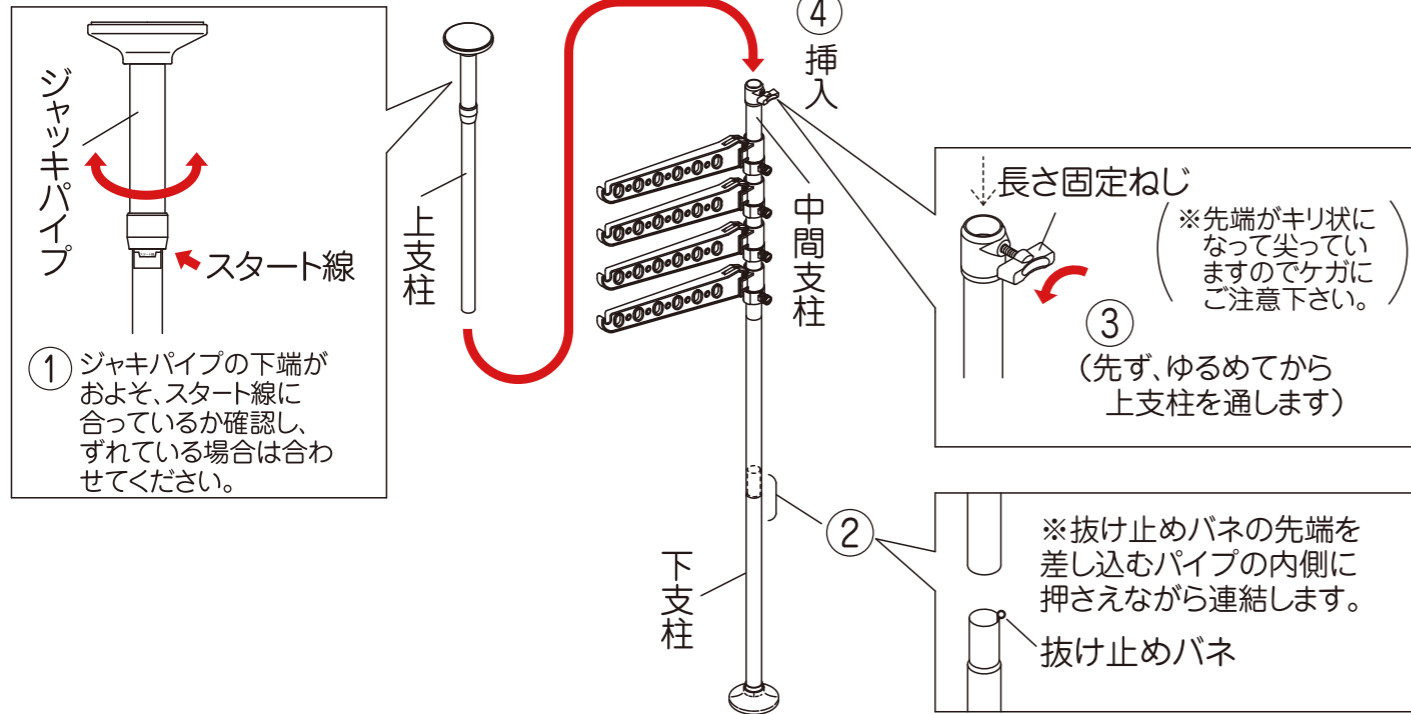
- 組み立ては十分広い場所で行なってください。また床などにキズがつかないように当て布をしてください。
- パイプの端面には、直接手や指などを触れないでください。ケガの恐れがあります。手袋の着用をお勧め致します。
- 改造や分解は危険ですのでしないでください。用途以外の使用はしないでください。
- 長さ固定ねじの先端はキリ状で尖っていますので、ケガをしないよう十分にご注意ください。
- 支柱は必ず垂直に取り付けてください。

組み立て方

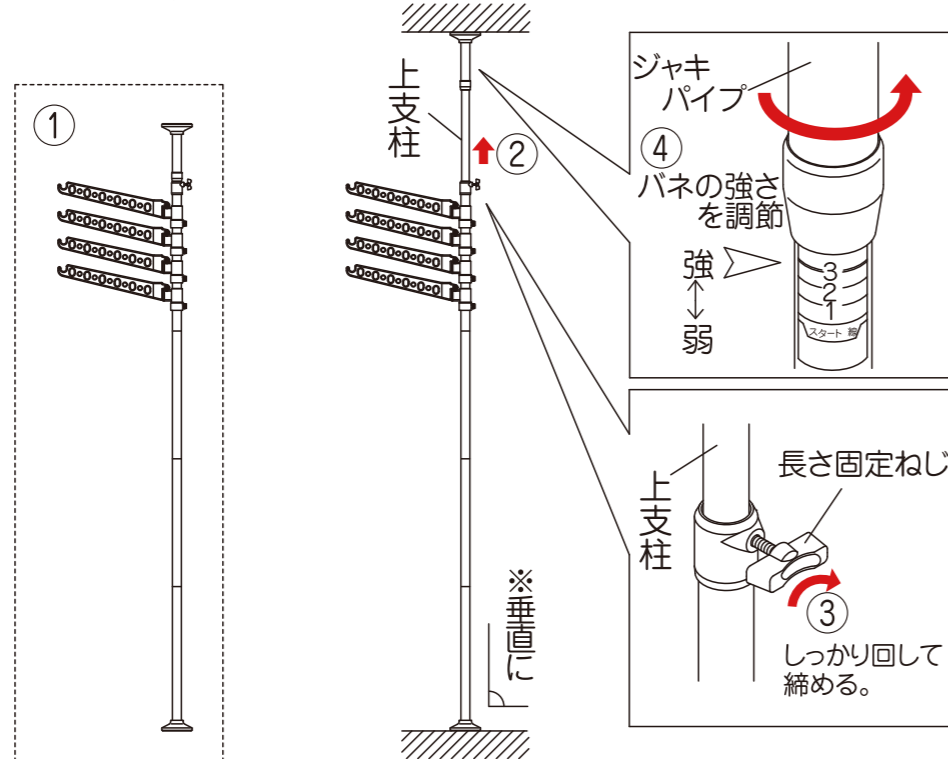
1 各支柱に部材を取り付けします。



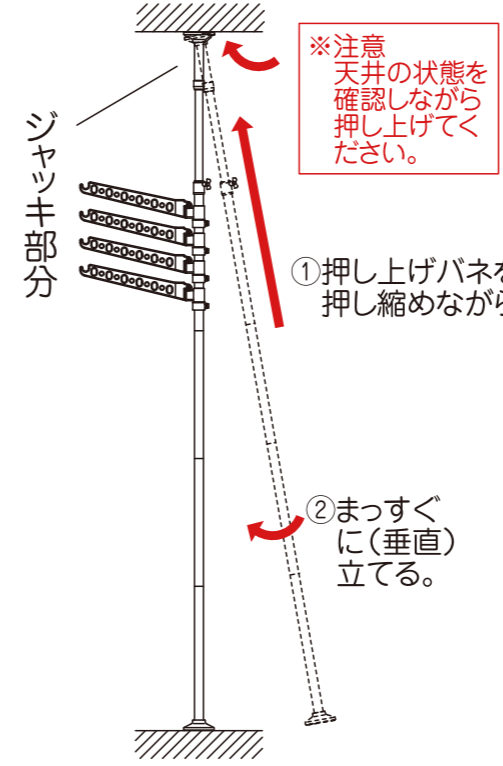
- 2** ①上支柱のジャッキパイプの下端がおおよそスタート線位置に合っているか確認し、合っていない場合はジャッキパイプを回転させて合わせてください。(強く回しすぎないこと)
 注意)大きくなりすぎたままですと支柱が取り付け出来ないことがあります。
 ②中間支柱と下支柱A, B, Cを連結します。(確認した設置高さに合わせた組み合わせを使用)
 ③ストップスリーブの長さ固定ねじを上支柱が通るまでゆるめます、ゆるめないと上支柱が通らなかつたり、上支柱にキズがつきます。
 ④上支柱を中間支柱にゆっくり挿入します。(急激に落下させないように注意してください)



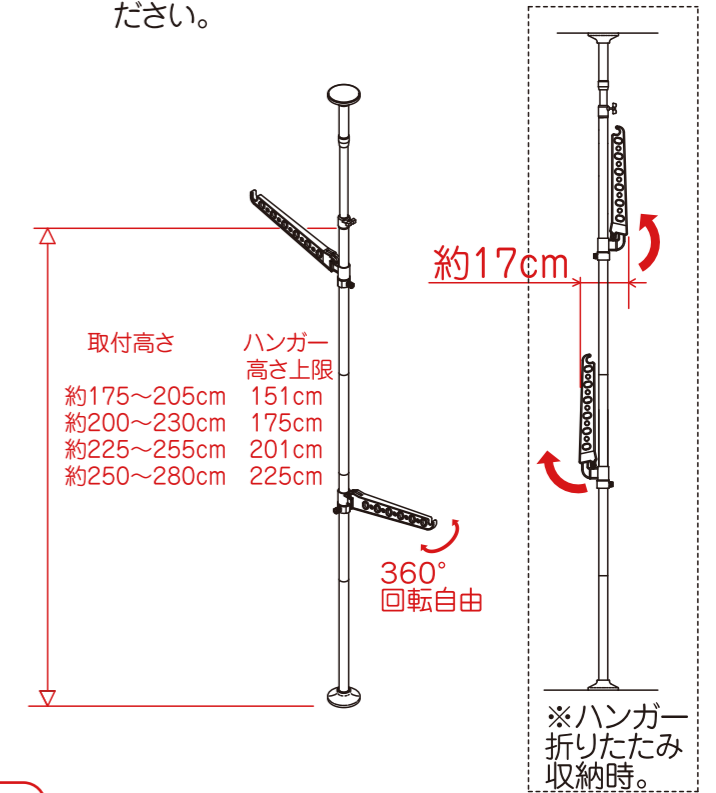
- 3** ①組み立てた製品を設置場所へ移動させます。
 ②支柱を垂直に立て、上支柱をキャップが天井面にピッタリ当たるまで引き出します。(強く押し付けないこと)
 ③長さ固定ねじを根元までしっかり回して支柱の長さを固定します(パイプに穴があき、長さが固定されます)
 ※締め付けが不十分ですと支柱を圧着固定する際、十分な圧着力が得られず転倒の原因になります。
 ④次に一旦、支柱を取り外し、ジャッキパイプを回しバネの強さを調節します。
 (※ストップ線をこえない範囲で調節してください)
 シール表示の3~4の間を目安にジャッキパイプ下端を合わせます。(4が最大バネ圧着力となります)
 ※取り付け状態により手順-4をくり返し、適正圧着力にしてください。



- 4** ①下図のようにジャッキ部分を押し上げバネを押し縮めながら、②支柱をまっすぐ(垂直)に立てます。
 ③支柱を引っ張り、しっかり固定されているか確認してください。



- 5** 最後にハンガーをご使用になる高さ位置決めをし、その後、ハンガーの向きをお好きな向きにしてください。(向きは360°自在)
 ※ハンガーの高さ位置を変える時は、固定ねじを緩めてから、行なってください。



△ 使用上の注意事項 ※注意事項は必ずお守りください。

- 本製品は屋内用です。
- 製品を本来の用途以外に使用しないでください。
- ハンガーアームに荷重を掛ける際は、1箇所の集中させず、均等にバランスよく掛けてください。特にハンガーアーム先端付近に集中して掛けないでください。(先端付近に集中して掛ける場合の耐荷重は3kg以下になります。)平均的に荷重を掛けた場合は1本当たりの耐荷重は5kgまで、全体で20kgまでです。(耐荷重は平均荷重で荷重を掛けた測定値であり、保証値ではありません。)
- 荷重は急激に掛けないでください。
- 耐荷重は取り付け場所の強度・状態により弱まる場合があります。
- ハンガーアームの向きは同じ方向にならないようにしてください。同じ方向に集中的に荷重を掛けると荷重バランスが悪くなり製品が転倒する恐れがありますので注意してください。
- 直射日光の当たる所、高温となる所、浴室など湿度の高い所、水の掛かる所では使用しないでください。(劣化や錆の原因になります。)
- 燃焼器具、発熱器具などの火気のそばでは使用しないでください。また、常時人がいるそばでは使用しないでください。
- 製品の構造上、多少がたつくことがあります。また力を加えると多少の揺れを生じますが、通常使用には差し支えありません。
- 支柱やハンガーアームにもたれ掛かったり、引っ張ったり、ゆすったり、ぶらさがったり、登ったりしないでください。(ケガや破損の原因になります。)
- 使用中にハンガーアームの向きを変える際、重さによって支柱が一緒に回ることがあります。その際は支柱の適正圧着力が落ちたり変化しますので、必ず支柱と一緒に回らないように手で押さえながらハンガーアームの向きを変えてください。
- 移動時は必ず掛けている物をすべて取り除いて移動させてください。
- ねじ類はしっかりと締め付けてください。また使用しているうちにねじが緩むことがありますので定期的に点検し(1週間に1回程度)、緩いときは締め直してください。
- 長期使用や使用環境により樹脂にひび割れ等の劣化が現れた場合は、危険ですので直ちに使用を中止してください。また、使用中に異常を感じたり、発見した場合も直ちに使用を中止してください。
- 特性上、樹脂は劣化・変色する場合があります。
- 使用しないときは、必ずハンガーアームは折りたたんでください。
- 汚れは薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、洗剤が残らないように拭き取り、乾いた布で拭き取ってください。中性洗剤以外は使用しないでください。たわし・磨き粉で磨くとキズが付きます。
- 消臭剤・芳香剤・整髪料・シンナー・ベンジン・油脂・薬品類などが付きましたら直ちに除去してください。(製品の劣化を促進する原因になります。)

※品質向上のため予告なく仕様及び外観を変更することがありますので予めご了承ください。
 ※製品につきましては万全を期しておりますが、万一不良などがございましたらお手数ですが下記連絡先までご連絡いただけますようお願い申し上げます。
 ※印刷の都合上、色調は実物と異なる場合もございます。

材質表示
 パイプ…鉄・エポキシ樹脂粉体塗装
 樹脂部品…ABS樹脂・PP樹脂・PE樹脂・合成ゴム
 ねじ類…鉄・メッキ
 パネ…バネ鋼・メッキ

MADE IN CHINA 080519V



HEIAN SHINDO 平安伸銅工業株式会社
 TEL 06-6228-8986
 9:30-17:00(土・日・祝日除く)
 www.heianshindo.co.jp